

平成二十六年

春期特別展

天変地異

平塚周辺の自然災害

平成27年3月11日(水)
～5月10日(日)

平塚市博物館

開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)
休館日 月曜日(5月4日は開館)
〒254-0041
平塚市浅間町12-41 0463(33)5111
<http://www.hirahaku.jp>

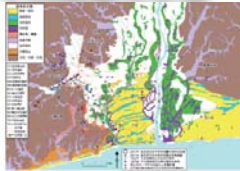
平塚市には、かつての自然災害を示す資料や記録が多数存在します。これらから知ることのできる自然災害の情報は、現在、そして未来の市民が防災・減災をはかるうえで重要な手掛かりになります。

そこで、本特別展では、平塚周辺で発生した自然災害に、博物館の自然・人文両分野の目から光をあて、その実態を紹介します。

本特別展をご覧いただき、身の周りや地域の防災・減災を考えるきっかけにしたいただければ幸いです。

【展示構成】

I 自然災害とは



平塚周辺の微地形分類と過去の災害地点



相模川の自然堤防地帯

II 気象災害



大堤決壊図



昭和51年台風17号による中原1丁目付近の浸水

III 火山災害



宝永スコリアの砂粒子



富士噴火砂降り後村柄書上

IV 地震災害



祐之地震日記(川崎市市民ミュージアム蔵)



液状化によるブロック塀の破壊(平塚市出縄)

V 災害とのたたかい



雨乞いに利益のある千須谷の出羽三山供養塔



カワクラ

VI 予想される地震・ハザードマップ

VII 災害対策課防災コーナー

【関連事業】

■記念講演会

「元禄地震と平塚」

講師：下重 清氏(東海大学文学部非常勤講師)

日時：3月22日(日)14時～15時30分

「歴史に学ぶ防災論：関東大震災は語る」

講師：武村雅之氏(名古屋大学減災連携研究センター教授)

日時：3月28日(土)14時～15時30分

※各回とも会場：博物館講堂、参加：自由(先着80名)

■特別展展示解説

①3月21日(土) ②4月4日(土) ③4月11日(土)

④4月25日(土) ⑤5月9日(土)

※各回13時～13時55分、参加自由

■野外見学会

「関東大震災の記念碑をたどる」

日時：4月5日(日)13時～16時

「巡って学ぶ自然災害と微地形(平塚駅～撫子原～上平塚)」

日時：4月11日(土)13時～16時

※各回とも定員30名。往復はがきで申込(往信面に住所・氏名・電話番号・行事名を記入。3月20日(金)消印有効)。応募多数の場合は抽選。雨天時は博物館講堂で解説。

■天変地異シンポジウム

「平塚周辺の自然災害を考える」

講師：博物館学芸員

日時：4月19日(日)13時～16時

会場：博物館講堂

■防災講演会

「東日本大震災以降の平塚市の災害対策」

講師：災害対策課職員

日時：4月25日(土)14時30分～16時00分

会場：博物館講堂

参加：自由(先着80名)

■寄贈品コーナー展示

「3.11 東日本大震災展」

会期：3月5日(木)～5月10日(日)

■2F 情報コーナー展示

「楽しく続けるわが街の防災」(ひらつか防災まちづくりの会)

会期：4月1日(水)～5月10日(日)

■プラネタリウム特別番組

「星空とともに」

「3.11 東日本大震災の記録～岩手県南部沿岸地域の3年間」

日時：3月11日(水)14時～15時 15時30分～16時30分

3月14日(土)・3月15日(日)15時30分～16時30分

参加：自由(先着70名)



交通案内

■東海道本線平塚駅下車
茅ヶ崎側改札北口駅前より
車で5分、または徒歩15分

■バス利用の場合
コンフォール平塚前、または美術館
入口下車、徒歩3分